

漁海況情報

2012年(平成24年)8月 第477号

沖縄県水産海洋研究センター
901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号
電話 098-994-3593・3597
FAX 098-995-2357



携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード) ↓

最新情報提供: 沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
E 海況案内人のページを参照してください。

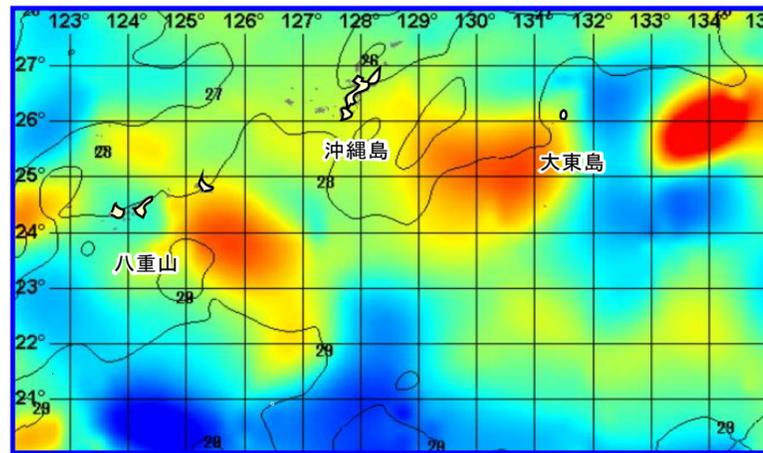


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2012年9月23日)

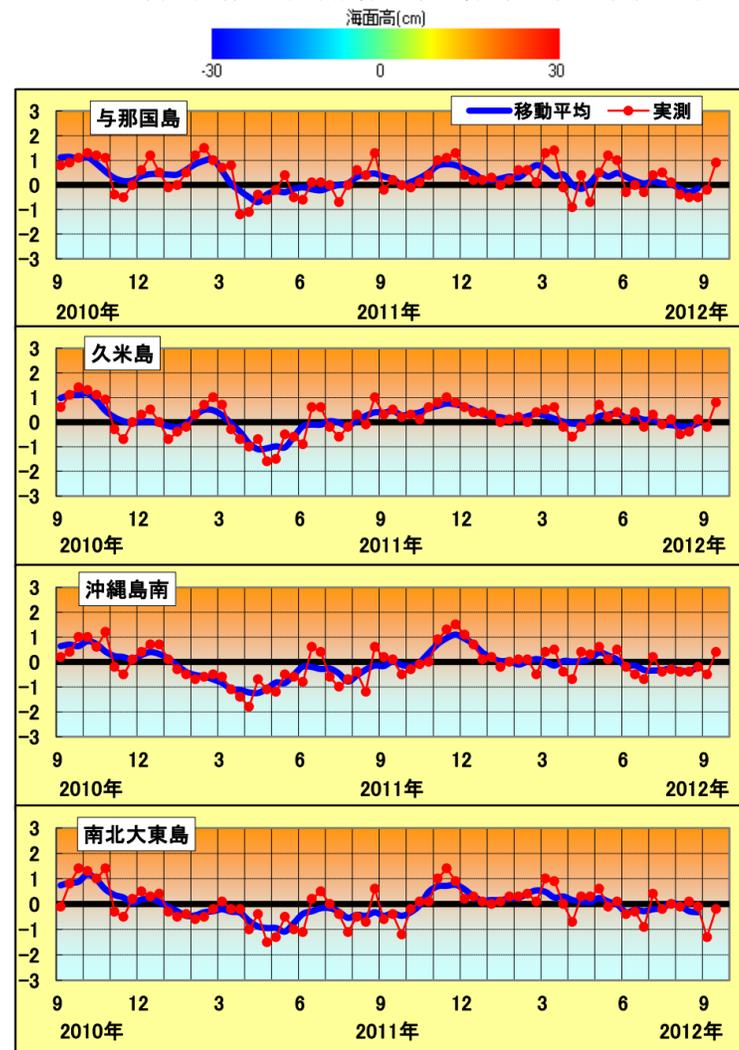


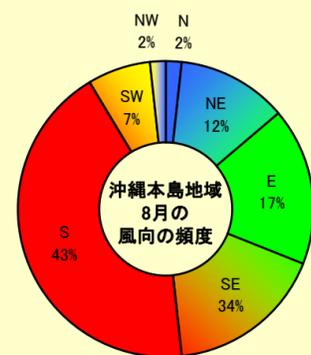
図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

N 水温: 8月から9月の水温は、概ね平年並み(±0.5℃程度)で推移したが、台風の影響により一時的な水温の低下が見られた。今後1ヶ月の水温は概ね平年並み(±0.5℃程度)で推移する見込み。
潮流: 久米島近海の黒潮はやや西寄りを受けている模様。また、尖閣諸島近海では黒潮が流れ込みかなり強い北東向きの流れが発生している模様。一方、高気圧性(時計回り)の中規模渦の影響で宮古島の東方には南向け、石垣島の南方には東向きの流れが発生している模様。

参考資料

海水温・海流1ヶ月予報: 9月20日気象庁地球環境・海洋部発表
西日本海区別海況情報: 9月23日発表長崎海洋気象台
沖縄県地方1か月予報: 9月21日沖縄気象台発表

9月中旬の表面水温平年偏差	
与那国	やや高め
久米島	やや高め
沖縄島南	平年並み
大東島	平年並み



漁況

パヤオ漁業: 沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではシビ、カツオの水揚げが多かった。

表1 8月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.4	0.1	0.0	0.0	0.6	0.5	1.5
カカジキ	0.8	0.0	0.6	0.1	1.4	0.0	5.1
沖サワラ	0.7	0.0	0.2	0.1	1.0	0.0	1.8
カツオ	0.6	0.1	0.1	0.1	0.9	8.8	10.3
キハダ	26.2	1.0	7.2	2.9	37.3	4.2	60.9
シビ	7.4	3.1	0.8	4.0	15.2	17.1	34.5
メバチ	2.3	0.0	1.5	1.4	5.2	0.0	7.1
計	38.3	4.3	10.5	8.5	61.6	30.6	121.1

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2008年	9.3	13.1	30.7	21.0	26.1	100.2
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	-	-	98.1

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2008年	21.8	26.3	19.1	20.0	25.8	113.1
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	-	-	46.8

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t)

沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)						
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2008年	1.2	0.4	1.8	3.1	7.4	13.8
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	-	-	3.1

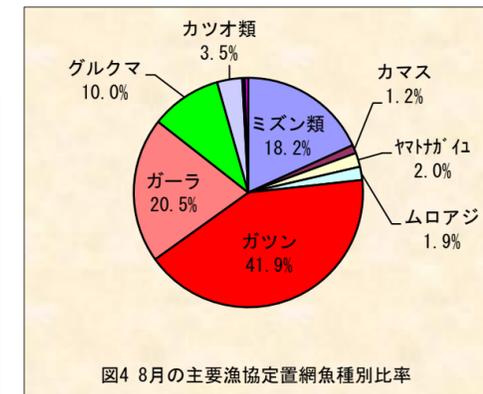


図4 8月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網: 8月の全体の漁獲状況は、5,860.8kgで先月(13,994.9kg)と比べて減少した。ガツンの漁獲が全体の41.9%、ガーラが20.5%、ミズン類が18.2%を占めた(表5、図4)。



グルクマ(グルクマー)

糸満では、キハダ(10kg以上)が26.2t、シビが7.4t漁獲された。港川ではシビが3.1t、キハダが1.0t漁獲された。知念では、キハダが7.2t漁獲された。沖縄市ではシビが4.0t、キハダが2.9t、メバチが1.4t漁獲された。伊良部ではシビが17.1t、カツオが8.8t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

8月のキハダの漁獲量は、37.3tで7月(34.1t)に比べて3.2t漁獲量が増加、昨年(26.1t)と比較すると11.2t上回った(表2、図3)。シビの漁獲量は7月(18.8t)と比べて3.6t減少した(表3)。シイラの漁獲量は7月(0.2t)と比べて0.4t増加した(表4)。

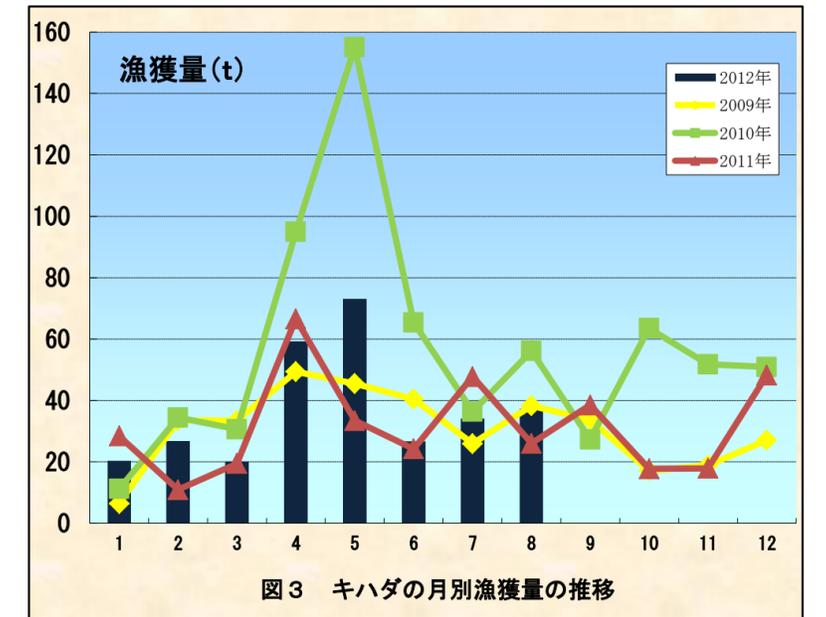


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 8月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置				合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城	金武		
ミズン類	0.0	6.8	0.0	0.0	852.9	0.0	206.7	0.0	1,066.4	1,066.4
カマス	53.5	8.0	0.0	0.0	1.1	6.7	0.0	0.0	69.3	70.1
ヤマトガイ	39.2	0.0	0.0	0.0	0.0	21.3	5.3	50.0	115.8	115.8
ムロアジ	101.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	6.8	0.0	109.4	109.4
ガツン	2,035.9	177.0	0.0	0.0	13.0	58.3	166.6	0.0	2,450.8	2,450.8
ガーラ	288.0	534.3	0.0	0.0	66.4	226.7	70.1	13.1	1,198.6	1,201.0
グルクマ	478.2	40.1	0.0	0.0	9.8	31.1	4.5	23.0	586.7	586.7
カツオ類	157.8	0.0	0.0	0.0	6.2	43.6	0.0	0.0	207.6	207.6
タチウオ	0.3	9.8	0.0	0.0	1.9	7.4	0.0	0.0	19.4	19.6
アイゴ	0.2	0.5	0.0	0.0	18.1	3.6	7.8	0.0	30.2	33.4
合計	3,154.4	776.5	0.0	0.0	970.7	398.7	467.8	86.1	5,854.2	5,860.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。